

■ カラーde サンキャッチャー®ワークショップの基本理念

カラーde サンキャッチャー®ワークショップは、サンキャッチャーを作る事で、癒しや楽しさを感じていただけます。
サンキャッチャーの作り方を教える手作り教室を開くことではなく、心にアプローチしていくことを目的としているのです。

<基本理念>

- ・お客さまに心から楽しんでいただくこと。
- ・のんびりゆったりと、またはウキウキ・ワクワクした時間を過ごしていただくこと。
- ・セルフセラピーを味わっていただくこと。

『セルフセラピー』とは…

ビーズの色や並べ方を考えている時は、心と対話しているので心が「今ココ」にあります。
ひとつのことを集中して考えることによって、頭の中から雑念が消え、心が解放されスッキリとします。
ビーズを触ると色の波長を身体で感じ、それが心の波長を整えることにもなります。
これらによって、癒しや元気を自分自身で感じる事が「セルフセラピー」です。

※気をつけていただきたいこと。(カラーセラピストさんをお願いします。)

お客さまのサンキャッチャーを、カラー分析しないでください。

その内容によっては、違和感を持たれる場合があります。大切なのは、お客さま自身が感じたことです。

■ お客さまに対して心掛けること

お客さまが安心してワークショップを受けるために。

ビーズを選んだり並べる時に「センスがないから…」「これで合っているかしら？」と言うことがあります。

色の選び方や並べ方に間違いは無いのです。

「すべてが正解」で「世界でたったひとつの素晴らしいサンキャッチャー」ということを理解していただきましょう。

そのことによって、お客さまの緊張がほぐれ安心されます。

講師からのアドバイスは控え目に。

お客さまがビーズを選んでいる時には集中していますので、それを十分味わっていただきましょう。

自分自身で選んで作り上げたという達成感によって満足して、愛着が湧き喜びにつながります。

お客さまとのコミュニケーション。

お客さまとの信頼関係を築くためのコミュニケーション方法のひとつに「傾聴」があります。

人は「話す」ことでさまざまな気持ちを「放し」ます。

お話に共感することによって、お客さまの心を癒し、解放することができるのです。

「安心できる」

「癒される」

「心を解放できる」

それをお客さまに感じていただく時間と場所作りを心掛けましょう。

■ お客さまとのコミュニケーション(傾聴のポイント)

- ① お客さまの話に共感することが大切です。
- ② 話は「お客さまが8割、講師が2割」という割合を心掛けましょう。
- ③ 傾聴の具体的な方法。
 - ・相づち
 - ・オウム返し お客さまの会話の一部を返すこと。
- ④ お客さまが同じ話を繰り返しても、受け入れましょう。

人は嬉しいこと、悲しかったこと、辛かったことを誰かに聞いてもらいたいのです。
その気持ちが大きいほど繰り返し話したいのです。
何度も聞いてほしいから、またいらしてくださるのです。
- ⑤ お客さまの話を遮ること、話題の横取りは避けましょう。
- ⑥ ワークショップ中は、講師自身のことを聞かれたら、軽く答える程度に。

お客さまの中には、気を使って話させようとする方もいます。
サンキャッチャーのほうへ気持ちを向けましょう。
- ⑦ 沈黙も立派な会話です。

お客さまがピース選びをしているときは、集中するようそっとしておきましょう。

大切なのは、お客さまを尊重している、ということを態度で伝えていくことです。
居心地のよい時間を味わいに「またここに来たい」と思ってもらえます。
サンキャッチャーを作りにくる楽しみだけでなく、講師に会いたいと思っただけなのです。

ワークショップの終了時間をきちんと伝えて、話ばかりになってしまうこと、お話が続いて終了時間が伸びることの無いようにしましょう。

※より詳しく知りたいかたへ…『あなたのコミュニケーション能力を高める 13 の「傾聴」技法』で検索。